

# 平成29年度 岐阜県県土整備部優良工事施工者表彰

－ 古川土木事務所発注工事分 －

## ◆県土整備部 古川土木事務所長表彰

株式会社 清水建設 様	
評点項目	地域貢献
評価結果	<p>該当工事は、飛騨市河合町稲越地内の出しヶ谷において砂防事業計画に基づき、本堤工および工事道路を施工した砂防堰堤工事である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●飛騨高山高校 環境科学科2年生による現場見学会の実施<ul style="list-style-type: none"><li>・高校生に事業の目的、工事概要、工事進行の一連の流れ、安全管理、品質管理や地域への取組等を説明し、的確に伝えるために写真を多く使用した独自のパンフレットを作成した。</li><li>・上記パンフレットで説明を行うとともに、砂防堰堤のコンクリート打設箇所に案内し工事の規模や施工中の状態を臨場感を持って見学させた。</li><li>・現場見学会の実施について積極的に情報発信し、新聞に掲載され建設業の魅力を広報した。</li><li>・見学会後に高校生からお礼の言葉や将来は土木関係の仕事につきたいとの返答をいただき、次世代の育成に貢献できた。</li></ul></li><li>●飛騨市長の現場視察<ul style="list-style-type: none"><li>・飛騨市長に現場視察をしていただき、砂防事業の目的や重要性を理解していただいた。</li></ul></li><li>●地域とのコミュニケーション<ul style="list-style-type: none"><li>・国道360号の草刈り作業を行い、地域に貢献した。</li><li>・主張地方道 神岡河合線の草刈り作業を行い地域に貢献した。</li><li>・河合スキー場の草刈り作業を行い、地域に貢献した。</li></ul></li></ul> <p>こうした取組から、独創性、模範性に優れ、優秀な成績をあげた施工者である</p>

◆県土整備部 古川土木事務所長表彰

株式会社 柳組 様	
評点項目	創意工夫
評価結果	<p>当該工事は、排水路（開水路）を函渠構造として上部を歩道とする工事である。本工事完成により事業区間完了となり児童の安全な通学路として活用される。</p> <p>●出水期（6月～7月）の排水路（開水路）工事に対する現地の対応          函渠工工事が工程上、出水期（6月～7月）に実施することとなり、周辺地域は住宅密集地で排水路の背後地盤は水路天端高よりも低いことから、既設の開水路の水位上昇による宅地側への影響が懸念されるため水替工の配慮が必要となる。</p> <p>●出水期（6月～7月）における工事中の水位管理の徹底          函渠工工事中の排水は、土嚢と水中ポンプにより水替えを実施しながら進めていく。これにより水位上昇が懸念されるため水位管理を以下の通り徹底した。</p> <p>（1）【常時水位】の管理          毎日8時と17時に締切部のポンプ点検及びゴミなどを除去する。常時水位ラインや水量を確認する。</p> <p>（2）【工事中止ライン】の管理          常時水位より15cm上昇したところを工事中止ラインとする。このラインに達した時点で工事を中止し緊急排水管を準備する。また、雨量を携帯電話で確認しながら注意報発令後、排水管を設置し現場の水位上昇を注視する。</p> <p>（3）【警戒水位ライン】の管理          工事中止ラインより24cm上昇したところを警戒水位ラインとする。このラインに達した時点で直ちに発注者へ連絡して周知を図り、また背後地盤へ流れ込まないように重機等で河積確保ができるような危機管理体制とした。さらに警戒水位ライン以下になるまで現地により監視を続け天候状況を確認してライン以下となれば監視を終える。</p> <p>●その他周辺地域への配慮          常に増水期の河積を確保するため、降雨時の掘削面の保護シートや土留壁の設置により背後地盤へ流水が流れ込まない配慮がなされた。</p> <p>このようなきめ細やかな取組から、独創性、模範性に優れ、優秀な成績をあげた施工者である。</p>

